



storage connect コマンドを使用します Snapdrive for Unix

NetApp
June 20, 2025

目次

storage connect コマンドを使用します	1
storage connect コマンドに関するガイドラインを示します	1
SnapDrive storage connect コマンドを使用するために必要な情報を示します	1
LUN をディスクグループ、ホストボリューム、およびファイルシステムと接続する	4
例： LUN で作成したファイルシステムを接続する	4
共有リソースを使用して既存の LUN を接続する	4

storage connect コマンドを使用します

SnapDrive storage connect コマンドは 'ストレージ・エンティティをホストに接続しますこのコマンドを使用して、LUN とストレージエンティティをホストに接続できます

SnapDrive storage connect コマンドを使用して、次の接続先に接続します。

- LUN
- LUN 上に直接作成されるファイルシステム
- LUN 上に作成されたディスクグループ、ホストボリューム、およびファイルシステム

SnapDrive storage connect コマンドを入力して LUN をホストに接続すると、SnapDrive for UNIX は必要な検出とマッピングを実行します。LUN の内容は変更されません。

storage connect コマンドに関するガイドラインを示します

SnapDrive storage connect コマンドを使用するには 'いくつかのガイドラインに従う必要があります

LVM エンティティを含むストレージには特別な要件があります。SnapDrive storage connect コマンドを使用して LVM エンティティを接続するには、ストレージ階層内の各エンティティに次のエンティティのインスタンスが 1 つだけ含まれるようにストレージを作成する必要があります。たとえば、SnapDrive storage connect コマンドを使用して、1 つのディスクグループ (dg1) と 1 つのホストボリューム (hostvol1) および 1 つのファイルシステム (fs1) を持つストレージ階層を接続できます。ただし、SnapDrive storage connect コマンドを使用して、1 つのディスクグループ (dg1) と 2 つのホストボリューム (hostvol1 と host21) および 2 つのファイルシステム (fs1 と fs2) を持つ階層を接続することはできません。

SnapDrive storage connect コマンドを使用するために必要な情報を示します

SnapDrive storage connect コマンドを使用する際には、入力する必要がある情報がいくつかあります。この情報は、コマンドを正しく使用する際に役立ちます。

要件	引数
<p>ホストに接続する LUN、LUN に直接作成されたファイルシステム、または LVM エンティティを指定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 つ以上の LUN を接続する場合は、最初の引数で LUN 名の長い形式を使用する必要があります。長い形式の LUN 名には、ストレージシステム名、ボリューム名、ボリューム内の LUN の名前を指定します。 <p>追加の LUN を指定する場合は、新しい LUN が以前の LUN と同じストレージシステムおよびボリュームにある場合に、LUN 名を単独で使用できます。それ以外の場合は、新しいストレージ・システム名とボリューム名（またはボリューム名）を指定して以前の値を置き換えることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> LUN 上に直接作成されたファイルシステムを接続する場合は、長い形式の LUN 名と「-nolvm」オプションも含める必要があります。 ディスク・グループ'ホスト・ボリューム'およびファイル・システムと LUN を接続する場合は'-fs' および -hostvol' オプションを使用して'ファイル・システムとホスト・ボリュームを指定する必要がありますホストボリュームにディスクグループの名前が含まれている必要があります。 	LUN（「-lun」）
<i>long_lun_name</i>	-lun' オプションで最初に指定する値には'ストレージ・システム名'ボリューム名'LUN 名を含める必要があります同じボリューム上の複数の LUN を接続するには'最初のパス名に完全な情報を入力した後で'-lun' オプションの相対パス名を使用しますSnapDrive for UNIX は、相対パス名を検出すると、前の LUN と同じボリューム上で LUN を検索します。同じボリューム上にない LUN を追加で接続するには、各 LUN への完全パス名を入力します。
LUN を追加します	<i>lun_name</i> (ロングまたはショートフォーム)
-fs に与えられる <i>file_spec</i> は'LUN 上に直接作成されたファイル・システムを接続するときのファイル・システム・マウントポイントの名前です	ファイルシステム ('-fs file-spec')
<i>filesystem_name</i>	ホスト LVM をアクティブ化せずに、LUN 上で作成されたファイルシステムを接続するため。
「-nolvm」と入力します	

要件	引数
<p>ホストボリューム上のファイルシステムを接続するには、次の手順を実行します。</p> <p>指定した <code>-fs_file_spec</code> と <code>-hostvol_file_spec</code> は '新しいホストに接続する LVM ファイル・システム' ディスク・グループ' およびホスト・ボリュームを識別します</p> <p>接続するストレージ階層には、ディスクグループ、ホストボリューム、およびファイルシステムが含まれている必要があります。「-fs」と「-hostvol」に値を指定する必要があります。「-hostvol」の値にはディスクグループの名前を指定する必要があります。</p>	<p>ホスト・ボリューム (<code>--hostvol file-spec</code>)</p>
<p>「 <code>_disk_group_name</code> 」 および 「 <code>_host_volume_name</code> 」 です</p>	<p>オプション：ホスト・ファイル・システム・テーブルにエントリを作成することなく 'ストレージを新しい場所に接続するには '-nopersist' オプションを使用しますデフォルトでは、 <code>storage connect</code> コマンドによって永続的マウントが作成されます。つまり、AIX ホスト上に LVM ストレージエンティティを作成すると、SnapDrive for UNIX によってストレージが自動的に作成され、ファイルシステムがマウントされ、ホストファイルシステムテーブルにそのファイルシステムのエントリが格納されます。</p>
<p>「 <code>-nopersist</code> 」</p>	<p>~</p>
<p>• オプション： * <code>igroup</code> 名を指定する代わりに、デフォルトの <code>igroup</code> を使用することを推奨します。</p>	<p><code>igroup</code> 名 (「 <code>-igroup</code> 」)</p>
<p><code>ig_name</code></p>	<p>「 <code>-fstype</code> 」 を入力します</p>
<p>「 <code>TYPE</code> 」</p>	<p>「 <code>vmtype</code> 」</p>
<p>「 <code>TYPE</code> 」</p>	<p>• オプション： SnapDrive for UNIX 操作に使用するファイルシステムとボリュームマネージャのタイプを指定します。</p>
<p>「 <code>-mntopts</code> 」 と入力します</p>	<p>~</p>

LUN をディスクグループ、ホストボリューム、およびファイルシステムと接続する

SnapDrive storage connect コマンドを使用して 'ディスク・グループ' ホスト・ボリューム 'およびファイル・システムを持つ LUN を接続するには ' 次の構文に従う必要があります

次のコマンドを入力します。

```
* SnapDrive storage connect -fs_file_spec_-hostvol_file_spec_-  
lun_long_lun_name_[lun_name...] [-igroup_ig_name_[ig_name...]] [-nopersist] [-  
mntopts_options_] [-fstype_type_] [-vmttype_type_] *
```

例： LUN で作成したファイルシステムを接続する

```
# snapdrive storage connect -fs /mnt/fs -lun f270-221-189:/vol/vol0/lun111  
-nolvm  
mapping lun(s) ... done  
discovering lun(s) ... done  
LUN f270-221-189:/vol/vol0/lun111 connected  
- device filename(s): /dev/vx/dmp/fas2700_939
```

共有リソースを使用して既存の LUN を接続する

共有ディスクグループまたはファイルシステムを使用するホストクラスタ構成に新しいノードを追加する場合は、別の構文に従う必要があります。

```
* SnapDrive storage connect -fs_file_spec_-lun_long_lun_name_[lun_name...] [-mntopts  
options] *
```

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。